

## 「弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針」に係る 第3回地域意見交換会会議録

中学校区：北辰中学校区

月　　日：平成27年10月14日（水）

時　　間：18:30～20:07

場　　所：北辰中学校 学習室

参加人数：14名

### ＜記録＞

番号	質問等の要点	回答内容
1	小中一貫教育システムとは、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を、一つの建物（学校）で行うことか。	小中一貫教育に取り組んでいる全国の事例では、2割は施設一体型で、8割が施設分離型です。小中一貫教育は様々なやり方があるため、学校の実態に応じて、混乱しない形で進めていきたいと考えています。
2	今の子どもたちは、横のつながりは強いが、小中一貫教育により縦の関係が充実するのではないか。	これまで取り組んでいる小中連携教育でも縦のつながりは十分に成果が出ていますが、更にレベルアップするためにも、小・中学校で共通の目標を持つことが重要であると考えています。
3	最終的には、小学校1年生から中学校3年生まで、9年間を通して同じ場所で学ぶことになるのか。	北辰中学校区の場合は、現在のところ、新たに一か所に学校を集約することは考えていません。
4	I C T支援員はどういう人なのか。学校の先生なのか。	教員がI C Tを活用した授業を行う際に、サポートできるI C Tの技能を習得し、取扱に精通している者です。教員ではなく、教育委員会で雇用し、学校からの要請に応じて支援にあたります。
5	小中一貫教育システムの一番のねらいは、小学校から中学校に進学する時に円滑にするということなのか。	そのとおりです。
6	中学校に進学する時に、子どもたちは不安や期待を持っている。小学校に2回ほど出向き授業をしたが、算数や英語が楽しいという雰囲気を感じることができた。交流することは子どもたちにとっても先生にとっても良いことだと感じている。	【意見等】
7	児童生徒の交流では、どんなことが行われているのか。	中学生が小学生に陸上などを教えに行くなど、様々な取組が行われています。
8	小学校で頑張ったスポーツが中学校の部活動にない場合がある。教育委員会ではどのような方向で考えているのか。	実態として、子どもの減少によりチームが作れない現状は理解しています。学校の統合だけでは、解決できるものではないと考えています。

番号	質問等の要点	回答内容
9	地域意見交換会は、保護者や住民の意見を幅広く聞くということであったが、若い人が参加していない。もっと参加する人を増やすよう努めてもらいたい。	市の広報紙やホームページにより、保護者や地域住民に通知しました。多くの人に参加していただけるよう、周知方法を検討していきたいと考えています。
10	中学校の行事に、小学校6年生が参加するなど、子どもと保護者が知り合う機会となるレクリエーション的なものがあつても良いのではないか。	【意見等】
11	人口減少の時代、子どもたちのことを大きな次元で考える必要がある。学校の統廃合では地域から必ず反対が出るので、市の強いリーダーシップが求められる。そのためにも、各課の横の連携が必要となるが、体制はどうなっているのか。	今回の意見交換会での内容を含め、関係課とは情報を共有しており、また今後も密に連携していきたいと考えています。
12	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）については、会長を校長が務めるのは大変だと思う。学校業務の他に責任を持つのは負担にならないか。	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）には3つの役割があり、「学校運営の基本的な方針の承認」、「意見の申出」は、これまで学校評議員制度において行ってきました。もう一つの「教職員の任用」については、学校が混乱しないよう、要件から外すことも可能です。学校でやるべきこと、地域でやるべきことを、学校運営協議会で役割分担を明確にしながら運営していくことが必要であると考えています。
13	基本方針の「学校・家庭・地域・行政が連携していく」こと自体は間違いないが、文字だけでなく実行していくことが大切である。今日の意見交換会も出席率が少ないように、家庭・地域に幅広く情報共有されなければ意味がない。充実度を更にあげていくのも教育委員会の仕事ではないか。	【意見等】
14	本人が希望したら、学区を越えた通学はできるのか。	原則、学区は決まっていることから、学区を自由に選択することはできません。しかし、学区外の就学には基準があり、基準に合致すれば認めています。地理的な理由として隣接する学校も選択できる「特別許可区域」は、市内に20カ所くらいあります。
15	学校の統廃合だけでなく、学校が魅力を上げていくことに努め、魅力ある学校を子どもたちが選べることができるように学区外の就学基準を緩めることも一つの方法ではないか。	小中一貫教育システムの構築の検討の中で、小学校区と中学校区をセットで考えています。「各中学校区の検討課題と対応案」の中で学区の見直しを提案しているところもあります。地域の意見を聞きながら検討していきたいと考えています。
16	今回の地域意見交換会では、公民館や出張所の統合について意見が出たと関係部署に伝えて欲しい。	【意見等】